

茶産業を核とした新たな産業興しによる雇用創出

「行ってみたい茶源郷づくり」

発表地域：京都府 和束町

発表者：和束町雇用促進協議会 木村 宣

<http://www.koyou-wazuka.jp>

1. 和束町の概要



<総面積 64.87km²>

森林 49.49km² (75%)

耕地 7.80km²

宅地 0.91km²

<人口 4,851人>

高齢化率 31.2%

<世帯数 1,729世帯>

<産業構成比>

第1次産業 25.1%

第2次産業 24.5%

第3次産業 49.9%

<基幹産業 お茶の生産・加工>

宇治茶の主産地

京都府内約45%の生産量

<沿革>

安積親王（聖武天皇第二皇子）陵墓をはじめ、古い時代の遺跡、地名などが随所に残っており、弥生時代には、すでに集落が形成されていたと推測され、奈良時代には、恭仁京と紫香楽宮を結ぶ交通路として開け、鎌倉時代の末期にこの地に日本で最初に茶園が形成されたとされます。江戸時代には、皇室の直轄地「禁裏御料地」として、独自の文化を育んできました。現在では、京阪奈学術研究都市の一角に位置し、町をあげて「学術研究農村」に取り組んでいます。

2. パッケージ事業に取り組んだ背景

<雇用の状況>

- ・ 中心産業は、お茶の生産・加工であり、小規模な雇用に留まっている。
- ・ 道路交通網が整備されていないため、企業誘致が難しい。

<雇用をめぐる地域の課題>

- ・ JAPANブランドの「宇治茶の主産地」でありながら、人口減少と少子高齢化による後継者不足。
- ・ お茶の流通形態が単一化しており、新しい流通経路の開拓のためのノウハウを持った人材が不足。
- ・ 茶の文化・景観資産など質の高い地域資源をもちながら、それを生かす人材が不足。



有効求人倍率 全国平均0.77% 当該地域0.42%（平成20年度）

3. 地域の重点産業分野の方向性

和束町第3次総合計画（地域資源を活かした活性化策）

人が輝き美緑あふれる「宇治茶」の郷づくり



- ①生産農家を含む茶業関連事業主に対して、経営と販促のスキルアップにより、雇用の拡大を図る。
- ②「茶のまち和束」を最大限に活かした新たな産業を創出し、（農村体験型または滞在型交流観光）交流人口の拡大により、雇用の創出を図るため、その人材を育成していく。
- ③「宇治茶の郷」としての和束ブランドの強化をし、地元住民が誇れるまちづくりを行う。



和束町雇用促進協議会設立（和束町・商工会・JA・NPO等で構成）

4.パッケージ事業の概要

<事業の趣旨・目的>

厳しい雇用状況と急速な少子高齢化による人口減少に歯止めをかけるため、基幹産業である茶産業を中心に、既存産業の拡大と新規ビジネスの創出により、和束町の地域再生を目的とする。

<事業予算>

委託対象経費	平成19年度	平成20年度	平成21年度
1. 管理費	3,833,000	7,172,000	7,054,000
2. 事業費	17,622,000	21,036,000	19,154,000
3. 消費税	1,073,000	1,411,000	1,311,000
合 計	22,528,000	29,619,000	27,519,000
3年間総計		79,666,000	

4.パッケージ事業の概要

雇用拡大メニュー（事業主向け）

- 農業経営支援研修・販売企画力開発研修
- 雇用ノウハウ研修



事業拡大や新事業展開等の支援を通じて、地域の雇用機会を拡大！

人材育成メニュー（求職者・在職者向け）

- 茶産業の新規ビジネス創出・茶の多角的販売促進
- 物販・飲食施設「和東茶カフェ」担い手育成
- 体験プログラム・農家民泊の担い手育成
- 海外に向け「和東茶」をオンラインで販売（ネットショップ開設研修）
- 地元産物を生かした起業・創業基礎研修



新商品の開発や、新たな特産品づくり

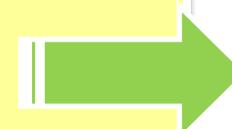
茶畑景観や茶摘み体験などを活かした着地型の体験観光の創出

地域の情報発信拠点づくり（和東茶カフェ）

宇治茶の郷としての「和東茶ブランド」の確立

就職促進メニュー（求職者向け）

- 和東茶製茶業入門研修
- 就職支援ASPシステムの導入



茶業繁忙期の人材確保等を支援！

5. 地域雇用創造実現事業の概要

【茶源郷プロジェクト】「飲む」お茶から「見て」「食して」「体験して楽しむ」お茶へ
～茶産業発、交流ビジネスの展開による雇用創出へ～

<事業の趣旨・目的>

パッケージ事業で、育成した人材が活躍できる場所をさらに提供できるよう、そのノウハウを生かしたアクションプランとマーケティングをより実現に近い状況で実施し、地域が自発的に雇用を創出し手いけるよう、雇用基盤の一層の充実に取り組む。

<事業予算>

委託対象経費	平成21年度	平成22年度	平成23年度
1. 人件費	15,642,000	21,322,000	21,322,000
2. 事業費	15,524,000	16,306,000	16,306,000
3. 消費税	1,558,000	1,881,000	1,881,000
合 計	32,724,000	39,509,000	39,509,000
3年間総計		111,742,000	

5. 地域雇用創造実現事業の概要

「見て」「体験して」楽しむお茶事業（着地型観光の商品開発）／茶を活用した交流人口拡大事業

- 茶畑景観のビジネス化
- 田舎暮らし体験、農家民泊推進事業
- 文化発信・観光ガイドマネージメント事業

「食す」お茶事業／茶産業の新規ビジネス創出、茶の多角的な販売の実現

- お茶請けやお茶を引立てる物の商品化
- おもてなし事業（飲食・喫茶）とお土産事業
- 野菜食売所事業（地産地消、オーナー制度、農家レストラン）

マーケティング事業

- チャレンジショップ・アンテナショップ事業
- 「茶のまち和東」「和東茶」ブランド力強化事業
- 「和東茶カフェ」情報交流ステーション事業

ニューツーリズム（着地型観光）の商品開発による交流人口拡大

遊休公共施設や空き家の活用による新規ビジネスへの参入

知育・食育強化で人を育む町和東の実現（生涯学習のちづくり）

お茶を活用した加工食品の開発による新規ビジネスへの参入

地産地消の推進

総合コンシェルジュ「和東茶カフェ」の確立

「和東」「WAZUKA」ブランドの確立

情報プラットフォームの整備・強化

6. パッケージ事業・実現事業による具体的成果

<アウトプット指標>

	平成19年度			平成20年度			3年間の総合計		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
雇用拡大	14社	38社	271%	14社	17社	121%	42社	55社	168%
人材育成	48人	82人	170%	109人	174人	159%	262人	286人	109%
就職促進	50人	46人	92%	59人	35人	168%	174人	81人	46%

<アウトカム指標>

	平成19年度			平成20年度			3年間の総合計		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
正規雇用	7人	2人	28%	17人	13人	76%	50人	15人	30%
非正規雇用	8人	3人	37%	19人	17人	89%	56人	20人	35%
起業創業	1人	6人	600%	8人	14人	175%	17人	20人	117%

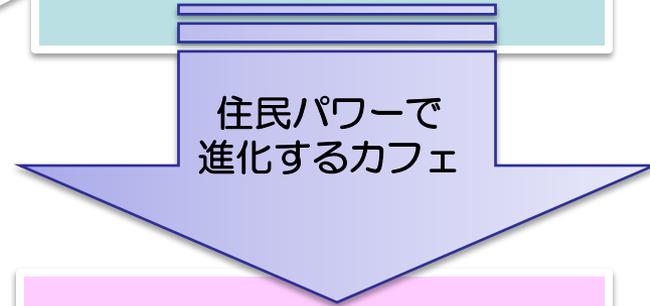
- ◆茶生産農家で後継者づくりの一環として採用（1ターン）
- ◆製茶の個人事業主が機械化を進め、規模を拡大
- ◆製茶業者が和東茶のネット販売や海外取引を開始
- ◆抹茶を使用した新たな飲料品を開発し、ネットショップ を開設・販売
- ◆主婦が特産品を開発し起業、「和東茶カフェ」のスタッフとしても活躍

7. 事業の工夫と波及的効果

事業が広範囲にまたがっている



お茶の直売所
観光案内所
ふるさとギャラリー
飲食・喫茶
情報・交流の場



地域コミュニティの再生
地域の活性化
(NPOや婦人グループ
の設立)

8. 今後の事業展開

◆それぞれのスキルアップを活かす雇用基盤の創出

◆大都市に近い田舎の特性を活かす

京都・大阪・神戸・名古屋・神戸の政令指定都市と
奈良・大津（滋賀）の県庁所在地に2時間以内

農家民泊

景観資産

平成23年度新学習指導要領の施行に伴い実施

「子ども農山漁村宿泊体験事業」の受入れ

体験プログラム

NPO・婦人グループ

特産品開発

観光ビジネスへの参入